

2019 年 1 月 23 日

『第 8 回生活環境職場ストレス調査』実施に受けた WG 概要

第 8 回生活環境職場ストレス調査 検討 WG

代表 松崎 一葉

メンバー 笹原 信一郎、大井 雄一、道喜 将太郎、堀 大介、大滝 優、
Christina-Sylvia Andrea、高橋 司、白木 渚、池田 朝彦、池田 有、
斎藤 環、泉 龍太郎、宇佐見 和哉、高尾 総司

第 8 回生活環境職場ストレス調査実施に向けた WG を 2018 年 11 月 14 日から 2019 年 1 月 23 日の期間に全 4 回実施し、今後の方向性について一定の見解を得たのでこれを労働衛生専門委員会へ報告する。

記

1. 各 WG 概要

第 1 回 2018 年 11 月 14 日 於・筑波大学

第 7 回生活環境職場ストレス調査を総括し、実態にそぐわない質問の検討や新規に入れる

べき質問の検討を行った。調査目標、社会への還元方法を明確にして、次回の項目を検討していくことになった。

第2回 2018年12月12日 於・筑波大学

第7回生活環境職場ストレス調査の各質問項目について、引き続き使用するべきか、新たな質問に変更するべきか検討を行った。つくば市との連携、横断調査から縦断調査への変更、予算削減のために調査会社の変更について検討を行った。

第3回 2019年1月16日 於・筑波大学

つくば市との連携についての調査結果、調査会社変更に関する情報共有、つくば市の現状の問題についての検討を行った。調査目的として、自殺予防の重要性が挙げられた。

第4回 2019年1月23日 於・筑波大学

自殺の予防因子に関する検討、調査予算に関する検討を行った。1月30日の委員会への提案事項を検討した。

2. WGからの提案事項

継続の意義：筑波研究学園都市の変遷に伴う最新の調査内容で自殺予防を目的に還元

予算編成：委託先見直しにより80%程度の予算規模で効率的・効果的に実施

以上